

第7次南知多町総合計画 施策評価書

基本目標 3 安心できるまちづくり

基本施策 3-5 暮らしを支える地域公共交通

1. 現状と課題

町内を移動する公共交通は路線バスのほか、島民の通勤・通学には定期航路が利用されています。通勤・通学や高齢者の移動手段として不可欠な、バス・航路の維持、利便性の向上が課題となっています。

2. 目指すべき将来像

鉄道、バス及び海上交通等の利便性の向上と利用促進を図り、生活に不可欠な移動手段が十分に確保されることで、町民が住み続けたいと思えるまちづくりを目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・自動車を運転できない高齢者の増加や、潜在利用者のニーズの変化に合わせ、運行ルートや時間帯、バス停留所等を見直していきます。
- ・駐車場など、利用者の利便性に大きく影響する周辺環境の改善に取り組みます。
- ・自動運転などの先進技術の導入、環境に配慮した車両等の導入、地域による公共交通、路線の再編等について、財政負担を抑えつつ、町民や観光客の需要に応じた移動手段を確保・充実する方法を検討します。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R2決算 (千円)	R3予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 交通安全推進費	防災危機管理室	交通安全意識の高揚を目的に、交通安全の広報、啓発活動及び交通弱者の交通安全教育など、交通安全の推進活動を実施します	1,642	1,744	B		4-02-1
2 離島振興費	まちづくり推進室	国や県と連携し、篠島・日間賀島住民の生活の安定と福祉の向上を目的に離島振興を図ります	29,200	18,782	B	2-51	4-05-1
3 公共交通対策事業費	まちづくり推進室	南知多町地域公共交通網形成計画に基づき、町民の通勤・通学・通院などの日常生活を支える公共交通の維持・活性化を図ります	136,298	107,033	A	2-55	4-05-5
4 小学校一般管理費	学校教育課	小学校施設の適切な維持管理に努めます	68,532	63,441	B	2-18	4-16-5
5							
6							
7							
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- 公共交通機関を積極的に利用する。(個人)
- 運転手等の担い手がやりがいを持って働けるよう、感謝の気持ちやねぎらいなどを伝える(個人)。
- バス停周辺の除草、清掃を行う。(個人・事業者)。

6. 町民意識調査によるニーズ等

自由記述意見から実現の可能性が高い又は条件によっては実現可能な提案等に関する記述のみを抜粋

- ①海っ子バスの対応が悪い。島への物を運ぶ際、停めるところがない為不便。
- ②バスは、船との時刻表を調整して欲しい。船、特に学生は島に高校がないので無料とするか、終便をもう少し遅くして欲しい。未来ある子どもたちが、住んでいる環境で何かを犠牲にするのはいかなものか。
- ③難しい問題です。人口を増やすか、時間帯で使う車両(海っ子バス)を変えてコストダウンかそして配車を増やす。
- ④島民の本土への通学、買い物、通院など、現在の回数券を増やすこと。定期への補助の増額を行うこと。(町を離れていく要員の一つにもなっている)。
- ⑤役場や子育て支援施設にアクセスしやすい公共バスがあればいいのに。内海から役場の直行便がない。子育て支援センターは僻地。電子マネー使いたい。
- ⑥生活航路(観光船)料金が安い。補助の券も全然足りていない。どういう割合で割引券を出しているのか教えて頂きたい。必要な人、要らない人アンケートなどをとったりしてはどうでしょうか。
- ⑦海っ子バスを小型化して本数、ルートを増やしてほしい。
- ⑧河和までの距離が本当に面倒。だからみんな出ていくのだと思う。
- ⑨鉄道駅の有無がこれほど大切であることを、過去の指導者たちは気が付かなかったのだろうか。内海駅があることで、内海地区は恵まれている。積極的に公共交通機関を利用している。バスも停留場が増え、利用しやすくなった。
- ⑩電車が無いうえに、有料道路で料金を払わないとどこへも行けないため転出したい。
- ⑪名鉄海上観光船の船賃が島民には大きな生活出費の負担である。
- ⑫バスの利用者が少ないとは言え、時間帯により1時間に1本しかない、非常に不便だと思います。
- ⑬高校生の通学圏を考慮した交通手段を確立しないと、転出したくなる。
- ⑭公共施設の再編と同時に交通網(路線バス、海上交通)の見直しを同時に検討したい。町の玄関口、内海駅を中心に。

7. 管理指標(pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3		R4		R5		R6		目標値(R6)
76	77	↗							91

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント
R3	
R4	
R5	
R6	

第1期アクションプラン 実施計画書

				アクションプラン掲載		③	
事業名	離島振興費			予算科目	2款1項8目3事業		
概要	国や県と連携し、篠島・日間賀島住民の生活の安定と福祉の向上を目的に離島振興を図ります						
担当課	まちづくり推進室	重点政策	1・②・③	基本施策	3-5	2-4	3-4
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
予定事業費	18,782千円		18,782千円		18,782千円		18,782千円
一般財源	10,601千円		10,601千円		10,601千円		10,601千円
事業内容	離島振興事業	離島振興事業	離島振興事業	離島振興事業	離島振興事業	離島振興事業	離島振興事業
	アイランダーなどPRイベントへの参加及びリモートによる離島PR活動を行います。離島振興事業の内容をまとめ、全国離島振興協議会を通じ、国に対して要望します。	アイランダーなどPRイベントへ参加し、離島PR活動を行います。離島振興事業の内容をまとめ、全国離島振興協議会を通じ、国に対して要望します。	同左	同左	同左	同左	同左
事業内容	離島交通費助成事業	離島交通費助成事業	離島交通費助成事業	離島交通費助成事業	離島交通費助成事業	離島交通費助成事業	離島交通費助成事業
	篠島・日間賀島住民に対して海上交通費の運賃助成を行います。	篠島・日間賀島住民に対して海上交通費の運賃助成を行います。	同左	同左	同左	同左	同左
特記事項							

第1期アクションプラン 実施計画書

				アクションプラン掲載		③	
事業名	公共交通対策事業費			予算科目	2款1項14目1事業		
概要	南知多町地域公共交通網形成計画に基づき、町民の通勤・通学・通院などの日常生活を支える公共交通の維持・活性化を図ります						
担当課	まちづくり推進室	重点政策	1・2・③	基本施策	3-5	3-4	
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
予定事業費	107,033千円		159,033千円		107,033千円		107,033千円
一般財源	94,090千円		146,090千円		94,090千円		94,090千円
事業内容	地域公共交通活性化・再生総合事業	地域公共交通活性化・再生総合事業	地域公共交通活性化・再生総合事業	地域公共交通活性化・再生総合事業	地域公共交通活性化・再生総合事業	地域公共交通活性化・再生総合事業	地域公共交通活性化・再生総合事業
	<p>海っ子バスの運行を関係者や地域住民等と協議し、使い勝手の良いバスとするため改善の方向性を検討し、公共交通の利用を促進します。</p> <p>コミュニティバス運行事業</p> <p>通学、通勤、通院等の生活の利便性の向上と観光利用の促進を図り、公共交通の確保・維持のためコミュニティバス「海っ子バス」を運行します。地域公共交通網形成計画を改訂し、将来の望ましい公共交通ネットワークの構築と運行方法の検討を実施します。</p>	<p>海っ子バスの運行を関係者や地域住民等と協議し、使い勝手の良いバスとするため改善の方向性を検討し、公共交通の利用を促進します。また、学校教育課と連携し令和5年度からのスクールバス運行に向けた最善の方法を検討していきます。</p> <p>コミュニティバス運行事業</p> <p>通学、通勤、通院等の生活の利便性の向上と観光利用の促進を図り、公共交通の確保・維持のためコミュニティバス「海っ子バス」を運行します。 ・海っ子バス購入 中型2台</p>	同左	同左	同左	同左	同左
特記事項							

第1期アクションプラン 実施計画書

				アクションプラン掲載		①	
事業名	小学校一般管理費			予算科目	10款2項1目1事業		
概要	小学校施設の適切な維持管理に努めます						
担当課	学校教育課	重点政策	①・2・3	基本施策	1-2	3-5	
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
予定事業費	63,441千円		60,710千円		61,009千円		61,878千円
一般財源	63,215千円		60,484千円		60,783千円		61,652千円
事業内容	小学校施設維持管理 小学校の施設・設備・備品の適切な維持管理を行います。 光熱水費・通信費 各設備保守点検 清掃・警備・管理委託 機器借上料	小学校施設維持管理 小学校の施設・設備・備品の適切な維持管理を行います。 光熱水費・通信費 各設備保守点検 清掃・警備・管理委託 機器借上料	小学校施設維持管理 同左	小学校施設維持管理 同左	小学校施設維持管理 同左	小学校施設維持管理 同左	小学校施設維持管理 同左
	スクールバス運行事業 豊浜小学校における豊丘地区児童及び内海小学校における山海地区児童の登下校のため、スクールバス3台の運行を委託し、安全な送迎に努めます。また、水泳指導の授業時間確保や部活動の試合等移動に係る保護者負担軽減のために、スクールバスを活用します。	スクールバス運行事業（運行委託契約年） 豊浜小学校における豊丘地区児童及び内海小学校における内福寺・山海地区児童、大井小学校・師崎小学校統合小学校の登下校のため、スクールバス5台の運行を委託し、安全な送迎に努めます。また、水泳指導の授業時間確保に係る保護者負担軽減のために、スクールバスを活用します。	スクールバス運行事業 同左	スクールバス運行事業 同左	スクールバス運行事業 同左	スクールバス運行事業 同左	スクールバス運行事業 同左
特記事項			小学校6校→5校		同左		同左

令和2年度 事業評価書

事業概要

交通安全意識の高揚を目的に、交通安全の広報、啓発活動及び交通弱者の交通安全教育など、交通安全の推進活動を実施します

担当課 防災危機管理室
防災安全係 内線222・223

予算科目

2 款 1 項 10 目 1 事業 交通安全推進費

予算額	1,972千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	1,972千円
決算額	1,642千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	72千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	1,570千円

計画 (PLAN)

主な事業	交通安全推進事業	運転免許証自主返納支援事業
事業内容	交通安全意識の高揚を目的に、交通安全啓発品の配布及び各種キャンペーンを開催します。	65歳以上の高齢ドライバーが免許証を自主返納した時にその後の支援品として、海づりバス及び知多バス（師崎線）の共通1日乗車券6,000円分を交付します。
基本施策① ※①	3-2 つながりを活かした交通安全と防犯	3-2 つながりを活かした交通安全と防犯
基本施策② ※①	3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ	3-5 暮らしを支える地域公共交通
基本施策③ ※①		
重点政策 ※②	1 2 ③	1 2 ③

実施 (DO)

主な事業	交通安全推進事業	運転免許証自主返納支援事業
予算額	1,612,000円	360,000円
決算額	1,437,566円	204,000円
財源（一般財源）	1,365,566円	204,000円
（その他）	72,000円	0円
執行率	89.2%	56.7%
事業実績	人身交通事故件数 27件 死亡事故件数 1件 交通安全推進協議会全体会 1回/年（書面） 交通安全教室 1回/年 交通安全キャンペーン 2回/年 交通安全テント基地 1回/年（縮小） シートベルト関所 3回/年（縮小）	申請件数 34件

評価 (CHECK)

事業指標	人身交通事故件数の削減	運転免許証自主返納支援事業の実施
目標値	死亡事故ゼロかつ人身交通事故件数32件（死亡0件・重傷4件・軽傷27件）	60件/年
実績値	人身交通事故件数27件（死亡1件・重傷0件・軽傷26件）	34件/年
達成度	未達成	未達成
担当課評価 ※③	人身交通事故件数は減少したため、啓発活動の効果はあったと考えるが、2年連続で死亡事故が発生しており、更なる対策が必要である。	実績値現減少の原因は、コロナ禍における外出自粛や、警察窓口の混雑等によるものと考え、半田警察署管内で、認知機能低下が原因と思われる死亡事故が発生しており、広報活動を強化し、返納の促進を図る必要がある。
基本施策有効評価（妥当性） ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 ③ 4 5 高い
費用対効果評価（効率性） ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 ③ 4 5 高い

改善 (ACTION)

課題	効果的な啓発活動が必要	効果的な広報が必要
改善・対応策	警察と連携し、効果的な啓発活動を実施する SNS等を利用した啓発を実施する	高齢者が参加する会合や集会に出向き、広報活動を実施する。
推進方針 ※⑤	B	B

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価（妥当性）…基本施策に対する有効性の高低（効率性）…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和2年度 事業評価書

事業概要

国や県と連携し、篠島・日間賀島住民の生活の安定と福祉の向上を目的に離島振興を図ります

担当課 まちづくり推進室

地域振興係 内線322・323

予算科目

2 款 1 項 8 目 3 事業 離島振興費

予算額 30,939千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 県支出金 8,460千円 町債 12,000千円 その他 0千円 一般財源 10,479千円

決算額 29,200千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 県支出金 7,341千円 町債 12,000千円 その他 0千円 一般財源 9,859千円

計画 (PLAN)

主な事業	離島振興事業	離島交通費助成事業
事業内容	アイランダーなどPRイベントへ参加し、離島PR活動を行います。離島振興事業の内容をまとめ、全国離島振興協議会を通じ、国に対して要望します。両島への光通信サービス導入に係る補助をおこなうことにより、離島住民等の負担の軽減と格差是正を図ります。 ・離島光通信サービス導入事業補助金 12,000千円(新規)	篠島・日間賀島住民に対して海上交通費の運賃助成を行います。
基本施策① ※①	2-4 何度も訪れたい観光・交流	3-5 暮らしを支える地域公共交通
基本施策② ※①	3-4 安心な暮らしを支えるインフラ	3-4 安心な暮らしを支えるインフラ
基本施策③ ※①		
重点政策 ※②	1 ② ③	1 2 ③

実施 (DO)

主な事業	離島振興事業	離島交通費助成事業
予算額	12,723,000円	18,216,000円
決算額	12,413,196円	16,787,160円
財源(一般財源)	413,196円	9,445,740円
(その他)	12,000,000円	7,341,420円
執行率	97.6%	92.2%
事業実績	・全国離島振興協議会を通じ、国に対して要望を提出(令和2年5月8日) ・アイランダー2020に出展(令和2年11月23日 オンライン開催) ・離島住民等の負担の軽減と格差是正を図るため離島光通信サービス導入事業の実施	・篠島・日間賀島住民に対して海上交通費の運賃助成を行った。 利用率 大人 85.6% 小人 64.1%

評価 (CHECK)

事業指標	国に対する要望活動の実施	助成対象者全員に割引券を配布します。
目標値	1回/年	利用率90%
実績値	1回/年	大人85.6% 小人64.1%
達成度	達成	未達成
担当課評価 ※③	コロナ禍での書面決議やオンラインでの要望となったが目標を達成できた。	コロナ禍の緊急事態宣言などに伴い、離島からの外出などを控えたことが利用率の減少に繋がったと思われる。
基本施策有効評価(妥当性) ※④	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い
費用対効果評価(効率性) ※④	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い

改善 (ACTION)

課題	アイランダーなどのPRイベントがオンラインとなってしまうと、説明をしても現地の雰囲気などが感じられないため効果が薄くなってしまふ。	今年度はコロナ禍のため利用率が低下したと思われるが、感染症が収束した後の利用率向上が課題である。
改善・対応策	緊急事態宣言が出ていない場合は、なるべく現地に出向いてPR活動を図る。また、オンラインイベントプロモーション可能な宣材を用意する。	以前は割引券の受け取りに印鑑が必要であったが、押印の見直しにより受け取りやすくするとともに、広報などでPRを図り利用率向上に努める。
推進方針 ※⑤	B	B

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価(妥当性)…基本施策に対する有効性の高低(効率性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和2年度 事業評価書

事業概要

南知多町地域公共交通網形成計画に基づき、町民の通勤・通学・通院などの日常生活を支える公共交通の維持・活性化を図ります

担当課 まちづくり推進室
公共交通係 内線322・323

予算科目

2 款 1 項 14 目 1 事業 公共交通対策事業費

予算額	146,817千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	10,082千円	一般財源	136,735千円
決算額	136,298千円	財源内訳	国庫支出金	3,750千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	22,602千円	一般財源	109,946千円

計画 (PLAN)

主な事業	地域公共交通活性化・再生総合事業			コミュニティバス運行事業		
事業内容	海っ子バスの運行を関係者や地域住民等と協議し、使い勝手の良いバスとするため改善の方向性を検討し、公共交通の利用を促進します。地域公共交通網形成計画を改訂し、将来の望ましい公共交通ネットワークの構築と運行方法の検討を実施します。			通学、通勤、通院等の生活の利便性の向上と観光利用の促進を図り、公共交通の確保・維持のためコミュニティバス「海っ子バス」を運行します。		
基本施策① ※①	3-5	暮らしを支える地域公共交通		3-5	暮らしを支える地域公共交通	
基本施策② ※①	3-4	安心な暮らしを支えるインフラ		3-4	安心な暮らしを支えるインフラ	
基本施策③ ※①						
重点政策 ※②	1	2	③	1	2	③

実施 (DO)

主な事業	地域公共交通活性化・再生総合事業		コミュニティバス運行事業	
予算額	6,621,000円		140,196,000円	
決算額	4,446,101円		131,851,808円	
財源 (一般財源)	4,446,101円		105,499,808円	
(その他)	0円		26,352,000円	
執行率	67.2%		94.0%	
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 乗降調査 (6月29、30) バス利用者アンケート調査 (6月29、30) 南知多町地域公共交通活性化・再生協議会開催 6回 タウンミーティング開催 5回 時刻表の印刷 10,000部 南知多町地域公共交通網形成計画更新 		<ul style="list-style-type: none"> 海っ子バス運行委託 97,761千円【レスクル株式会社美浜営業所】 海っ子バス購入 22,770千円【中型バス 1台】 運賃改定に伴う減収補てん 9,353千円【知多乗合株式会社】 	

評価 (CHECK)

事業指標	タウンミーティングの開催	海っ子バス運行本数の維持
目標値	10回/年	16往復 (32便) /日
実績値	5回/年	16往復 (32便) /日
達成度	未達成	達成
担当課評価 ※③	毎年1月頃に高齢者対象のタウンミーティングを行っていたが、コロナ禍での高齢者対象ということを考慮し中止とした。	運休や大きな事故等もなく運行することができた。
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 3 ④ 5 高い	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 2 3 ④ 5 高い	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い

改善 (ACTION)

課題	改善・対応策	推進方針 ※⑤
タウンミーティングではグループワークを毎年行っていたが、コロナ禍ということもありグループワークを中止した。	タウンミーティングの開催の仕方など、いかに密にならずに多くの人の意見をもらえるかを検討していく。オンライン開催やアンケート形式などを検討していく。	A
少子化・人口減少により町の人口が減っていくなか、いかに今のサービス水準を維持しつつ経費を抑制できるのかが課題である。	タウンミーティングで出た意見をできる限り反映し、住民の利用しやすいバスにする。とともに、電子チケットの導入など観光客にも利用しやすいバスとする。	A

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和2年度 事業評価書

事業概要

小学校施設の適切な維持管理に努めます

担当課 学校教育課
学校教育係 内線553・554

予算科目 10 款 2 項 1 目 1 事業 小学校一般管理費

予算額	72,677千円	財源内訳	国庫支出金	1,116千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	190千円	一般財源	71,371千円
決算額	68,532千円	財源内訳	国庫支出金	165千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	46千円	一般財源	68,321千円

計画 (PLAN)

主な事業	小学校施設維持管理	スクールバス運行事業
事業内容	小学校の施設・設備・備品の適切な維持管理を行います。 光熱水費・通信費 各設備保守点検 清掃・警備・管理委託 機器借上料	豊浜小学校における豊丘地区児童及び内海小学校における山海地区児童の登下校のため、スクールバス4台の運行を委託し、安全な送迎に努めます。また、水泳指導の授業時間確保や部活動の試合等移動に係る保護者負担軽減のために、スクールバスを活用します。
基本施策① ※①	1-2 次代の担い手を育む教育環境	1-2 次代の担い手を育む教育環境
基本施策② ※①		3-5 暮らしを支える地域公共交通
基本施策③ ※①		
重点政策 ※②	①	① ③

実施 (DO)

主な事業	小学校施設維持管理	スクールバス運行事業
予算額	61,184,000円	11,493,000円
決算額	59,268,000円	9,264,000円
財源 (一般財源)	59,057,000円	9,264,000円
(その他)	211,000円	0円
執行率	96.9%	80.6%
事業実績	小学校6校の児童数等の状況 児童数 678人 学級数 50学級 教員数 76人	豊浜小1台、内海小2台 計3台 ・スクールバス運転業務委託料 7,346千円 ・スクールバス維持管理費等 1,918千円

評価 (CHECK)

事業指標	学校施設の適正な維持管理	スクールバスの適正な維持管理
目標値	6小学校	4台
実績値	6小学校	4台
達成度	達成	4台
担当課評価 ※③	小学校6校の施設を適正に管理することができた。	バス運行について、大きな事故がなく安全に運行することができた。
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い

改善 (ACTION)

課題	小学校6校とも現在の配当予算では、電子黒板等の高額な備品を購入できない。施設の老朽化により、修繕箇所が増加傾向にある。	中学校部活動など土日のスポット運行において、運転手不足のため運行できないことがある。
改善・対応策	国の補助金等を活用し、必要な備品等を購入できる予算措置を行う。 修繕箇所については、現場確認を実施し、緊急性があるものは重点的に予算措置を行う。	バス利用申請時の取り決め周知及びバス運行会社及び町内小中学校に示し、お互いがそのルールの中で実施する。
推進方針 ※⑤	B	B

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討